

A7433	Osaka Metro 21系 更新改造車 御堂筋線 21607F 基本6両セット	予価:34,870円(本体価格31,700円)
		JANコード:801284 カートン内入数:12

A7434	Osaka Metro 21系 更新改造車 御堂筋線 21607F 増結4両セット	予価:20,020円(本体価格18,200円)
		JANコード:801291 カートン内入数:12

商品形態 Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)

実車 大阪市交通局では1984年から中央線・谷町線にアルミ車体制のVVVFインバータ制御車20系を投入していましたが、1990年より大幅にモデルチェンジした新20系を各線に投入開始しました。車体は19m級片側4扉の軽量ステンレス製で、前面はくの字形に傾斜しダークグレーで窓周辺を縁取った額縁デザインが採用され、中央に2灯装備されたヘッドライトと額縁の左右に埋め込まれたテールライトの独特の外観から大きな話題となりました。また、カバー付きの室内照明や側面行先表示器の設置、座席のクッションの改良など接客設備が大幅にグレードアップされたことも特徴です。御堂筋線用21系、谷町線用22系、四つ橋線用23系、中央線用24系、千日前線用25系が1990年から1998年にわたって合計572両製造され、30系、50系などの非冷房旧型車を一掃して輸送サービスの向上に大きな役割を果たしました。製造後20年あまりが経過したことから2011年からは更新工事が開始されており、屋根肩部への識別帯追加、各車両端部戸袋への大型号車表示掲出、屋上空調機器脇へ車外スピーカー設置などの外見上の変化が生じたほか、2015年以降の改造車では内装を各路線毎のテーマに沿って大胆に変更するメニューも追加されています。2018年4月に大阪市交通局の民営化に際して大阪市高速電気軌道株式会社(Osaka Metro)が発足、併せて車体側面に従来の社紋に代わって「ムービングMマーク」が掲出されました。

商品概要
 ・マイクロエース私鉄電車シリーズの更なる充実
 ・フライホイール付動力ユニット搭載
 ・ヘッドライト、テールライト、前面表示器点灯

ステンレス車体に赤と白の帯。御堂筋線21系



21407の左右両側面異なるラッピングを再現(写真は試作品です)

大阪市高速電気軌道株式会社商品化許諾済

- 2020年7月発売のA7433/34 Osaka Metro 21系を基にしたバリエーションモデル
- 女性専用車(21407号)の左右で異なるラッピングデザインを忠実に再現

編成図	A7433	A7434	21607	21007	21107	21707	21407	21807	21507	21307	21207	21907
			ライト				(M)					ライト
			←江坂・千里中央									なかもず→

オプション 幅狭室内灯:G0005/G0006/G0007/G0008, マイクロカプラー密連・灰:F0002

付属品 行先シール